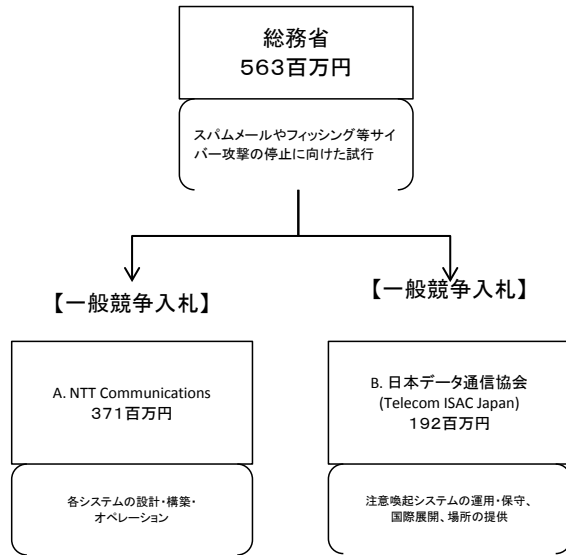


行政事業レビューシート (総務省)

予算事業名	スパムメールやフィッシング等サイバー攻撃の停止に向けた試行	事業開始年度	平成18年度	作成責任者		
担当部署	情報流通行政局	担当課室	情報セキュリティ対策室	室長 中野 正康		
会計区分	一般会計	上位政策	情報通信技術研究開発推進費			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	総務省設置法4条75号	関係する計画、通知等	第三期科学技術基本計画 (平成18年3月閣議決定)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	多数の一般ユーザのPCを乗っ取り、サイバー攻撃等に悪用する「ボットネット」撲滅のための施策を展開し、インターネットの安心・安全な利用の実現を図る。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	近年、PCを遠隔操作・悪用するボット・ウイルス(ボット)が引き起こすインターネット上の脅威が社会問題となっている。(ボットに感染したPCのネットワークは①スパムメールの送信、②フィッシング用のウェブサイトをホスト、③サイバー攻撃(大量通信)を行う、④感染したPC内の個人情報盗み出す、等の機能を有する) ボットの収集・分析・解析を行うシステムについて、開発及び試行運用を行うとともに、電気通信事業者を通じてボットを削除するソフトウェアを一般ユーザに対し配布・適用を行う。なお、本施策は経済産業省との連携プロジェクトであり、総務省で捕獲したボットをもとに、経済産業省にてボットを削除するソフトウェアを開発している。					
実施状況	収集検体総数：15百万体(2006年12月～2010年1月の累計) 収集未知検体数：2.8万種類(2006年12月～2010年1月の累計) 注意喚起数：47万通(2006年12月～2010年1月の累計) 駆除ツールダウンロード総数：115万回(2006年12月～2010年1月の累計) 参加ISP：76社(全ブロードバンドユーザの約8割をカバー)					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	884	747	596	547	0
	執行額	863	744	590		
	執行率	97.6%	99.6%	99.0%		
	総事業費(執行ベース)	863	744	590		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	進捗の確認と今後の方針を決定するために月一回、経済産業省及び関係機関と合同で運営委員会を実施している。また、年2回、経済産業省と合同で評価委員会を開催し、外部有識者(4名)を交えて各年度の成果や進捗、状況の把握、今後の方針等について議論し、活動の充実を図っている。これまでに世界トップクラスの低いボット感染率を実現する等、確実な成果を挙げているところ。				
	見直しの余地	本施策は平成22年度で終了				
予算監視の効率	廃止 (22年度で廃止)					
補記						

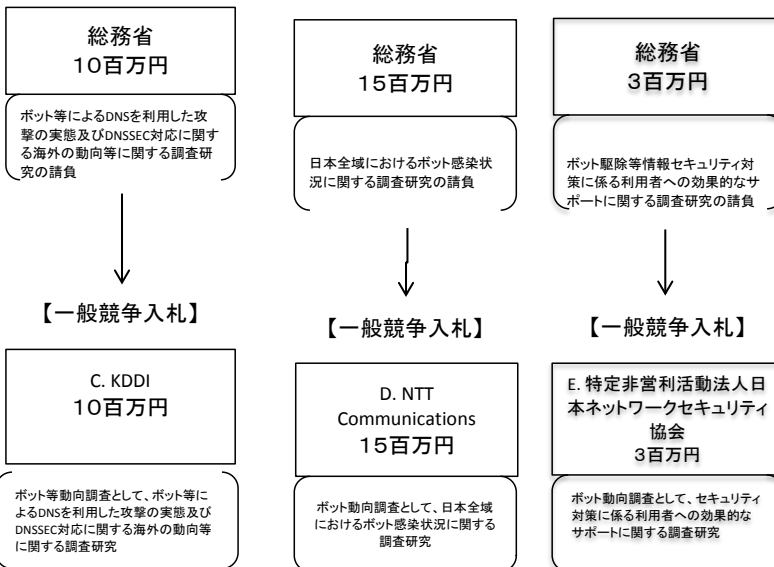
**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を  
 行っているかについて  
 補足する)  
 (単位:百万円)



応札者数 : 1

応札者数 : 1

応札率 : 99.5%



応札者数 : 1

応札者数 : 1

応札者数 : 2

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者につ  
 いて記載する。使途と費目の  
 双方で実情が分かるように  
 記載)

A. NTT Communications			E. 特定非営利活動法人日本ネットワークセキュリティ協会		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
環境構築費	リース/保守/DC費用/回線費用/ライセンス費用/個別調査費用/物品購入費用等	123	人件費	調査研究、報告書作成、管理	2
労務費	研究開発/調査研究/運用/進捗管理等/管理部門	227			
その他	啓発活動等	21			
計		371	計		3
B. 日本データ通信協会			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
環境利用費	フロア、設備	105			
労務費	注意喚起、保守等の人件費	59			
国際展開	国際展開にかかる旅費等	16			
一般管理費	運用、管理にかかる費用等	13			
計		192	計		0
C. KDDI			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	調査研究、報告書作成、管理	9			
旅費	海外動向調査	1			
計		10	計		0
D. NTT Communications			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	調査研究、報告書作成、管理	11			
一般管理費	運用、管理にかかる費用等	1			
計		15	計		0

# スパムメールやフィッシング等サイバー攻撃の停止に向けた試行

多数の一般ユーザのPCを乗っ取り、サイバー攻撃等に悪用する「ボットネット」撲滅のための施策を展開し、インターネットの安心・安全な利用の実現を図る。

## 1 施策の概要

近年、不正アクセス、情報漏えい等のサイバー攻撃等の脅威は高度化しており、特に「ボットネット」を利用した脅威が大きな社会問題となっている。

「ボットネット」とは、一種のウイルスである「ボットプログラム」に感染したために悪意の第三者に意のまま操られている多数のPC(ボット)の集合体である。ボットプログラムは、①スパムメールの送信機やフィッシング用のウェブサイトとなる機能、②サイバー攻撃を行う機能、③感染したPC内の個人情報などを盗み出す機能などを有しており、悪意の第三者の命令に従って多数のボットが協同して様々な情報セキュリティ上の問題を引き起こしている。

さらに、次々と新たなボットプログラムが出現し、既にウイルス対策会社にも現状への対策が困難となっている。

そこで、ボットプログラムの収集・分析・解析を行うシステムについて、開発及び試行運用を行うとともに、電気通信事業者を通じてボットプログラムを削除するソフトウェアを一般ユーザに対し配布・適用を行う。また、サイバー攻撃等の現状トレンドを把握するための調査研究を並行して実施する。

## 2 イメージ図

